

災害時の医療機関の選び方

災害時、診療可能な医療機関は「診療中」の
のぼり旗を掲げます。

ケガの緊急度・重症度に合わせて、
医療機関を受診しましょう。



赤色の
のぼり旗
が目印

災害拠点病院

- ・済生会横浜市南部病院(港南区)
- ・国立病院機構横浜医療センター
(戸塚区) 他市内11か所

重症

負傷などで歩行できず、
生命の危険※がある

※意識が低下している/呼吸が
浅い/脈が触れない/手足が
冷たい/大出血など

中等症

負傷などで
歩行できない
(生命の危険はないが
入院が必要)

災害時救急病院

- ・横浜栄共済病院(栄区)
- ・西横浜国際総合病院(戸塚区) など

黄色の
のぼり旗
が目印

軽症

負傷などが
あっても
歩行できる
(入院は不要)

診療所

被災をまぬがれた
診療所

今のうちに近くの診療所を
調べておきましょう。

診療所を探す

栄区医師会

検索

黄色の
のぼり旗
が目印



極めて
軽症の負傷

すり傷など

自助・共助

自分、家族、隣近所の
人たちによる応急手当

栄区いたち川マスコット
「タッチーくん」



＼ 知っておこう /
お口のこと・お薬のこと

災害時



**歯が
痛むとき**

黄色の「診療中」の
のぼり旗が目印

診療
中

横浜市



**薬が
必要なとき**

黄色の「開局中」の
のぼり旗が目印

開局
中

横浜市

被災をまめがれた歯科医院・薬局

今のうちに近くの歯科医院・薬局を調べておきましょう。

歯科医院を探す

栄区歯科医師会

検索



薬局を探す

栄区薬剤師会

検索



お薬の備えはできていますか？

災害時は、いつも通りにお薬を受け取れないことがあります。
日頃からの備えが、安心につながります。

**備えて
おきたい
もの**



お薬手帳
(コピーや写真でもOK)



1週間分多めの
常備薬



薬局からお薬と一緒に
もらった説明書

【処方薬も1週間分多めに】

余裕をもって受診し、いつものお薬が切れる1週間前には受診をしましょう。
常に1週間分の処方薬を手元に置いておくと安心です。

【発行元】横浜市栄区役所福祉保健課 〒247-0005 横浜市栄区桂町303-19

TEL:045-894-6963 【監修】栄区医師会・歯科医師会・薬剤師会

【発行】令和8年9月

栄区災害時医療

検索

栄区の
災害時
医療体制は
こちら

